会 議 録

会議の名称	長期計画起草委員会（第4回）文化と教育		
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係		
開催日時	平成27年7月21日(火)午後6時30分～午後9時40分		
開催場所	第二庁舎 801会議室		
出席者 (4人)	リーダー	鉄矢 悦朗	委員
	副リーダー	久保 節紀	委員
		渡邊 智子	委員
		福元 弘和	委員
欠席者	リーダー	鉄矢 悦朗	委員
事務局	企画政策課長	水落 俊也	
	企画政策課長補佐	中田 陽介	
	企画政策課係長	廣田 豊之	
	企画政策課主任	工藤 真矢	
	有限責任監査法人トーマツ	堀井 敬太	
傍聴の可否	○	一部不可	不可
傍聴者数	0人		

【会議次第】

- 1 長期計画審議会からの意見に対する後期基本計画（案）への反映について
- 2 後期基本計画（素案）について《主な事業と成果・活動指標》
- 3 その他

※第3回起草委員会は、7月19日（金）締切だったが、修正がなかったため、確定とする旨確認した。

【会議結果】

- 1 長期計画審議会からの意見に対する後期基本計画（案）への反映について《審議会資料No.19》

前回第5回審議会（7/13）で諮った案件であるが、各起草委員会で意見がある部分について引き続き議論し、その後、審議会を開催し、委員全員でオーソライズし中間答申とすることとした。

○主な意見

- ・(NO.2について) (回答の表現) 回答の表現が良くないのではないか。「江戸東京野菜は、商業振興を目的に取り組んでいるものであり、また、地場産品としての小金井市における文化的背景はない」という表現を変えていただきたい。
- ・(NO.101について) (回答の表現) 美術館の充実を目指してほしいと考えているので、回答を見直してほしい。
- ・(NO.4について) 小金井市の顔となる「2つの文化施設」に関して絞った施策である旨、わかるように(現況と課題)記載していただきたい。
- ・(NO.103) (回答の表現) 質の向上という観点から、もう少し周辺団体な

どの状況を見て、前向きな回答にしてほしい。

- ・(NO.113) (回答の表現) 計画への反映の可否ではなく、もう少し前向きな回答にしていただけないか。
- ・(NO.118, 119) (回答の表現) 計画への反映の可否ではなく、もう少し前向きな回答にしていただけないか。
- ・(NO.124) ・(回答の表現) 現状の文章では今後5年間の中で一つもできないという決めつけのように読み取れる。もし、2つ目のクラブの設立などの機運があれば、妨げることなく、支援していただきたい。また、スポーツ振興計画の中でできる限り、対応していただきたい。
- ・(NO.125) (回答の表現) チャレンジデーの今後の方針について、取組名①、②の部分に事務局からの説明内容を少しでも反映できないか。
- ・取組①の中で、(仮称) スポーツ推進計画の策定を取組の先頭に位置付けられないか。

2 後期基本計画(素案)について《主な事業と成果・活動指標》

《起草資料8》

○事務局より説明

- ・主な事業、成果活動指標は、原則、前期からの継続で設定しており、前期で事業が終了したものなどは、後期で新しい事業に変更している。
- ・主な事業については、施策についてのトピック的な事業であり、原則、1施策1事業を挙げている。
- ・その主な事業と対になっているのが、成果活動指標であり、事業の達成度合い、施策の達成度合いについて、原則数値で目標を示している。

○主な意見

施策35：総合的な文化振興の推進

- ・総合的な文化振興の推進について、担当課がやっていることの実績を指標として載せた方がいいのではないか。

施策37：文化施設の効率運営

- ・美術館の来館者アンケートなどの数値は指標として設定できないか。

施策41：活動の場の充実

- ・公民館平均利用率→公民館稼働率に修正した方がいい。
- ・スポーツ教室、スポーツ大会の参加者数は、なぜ前期と大きなずれがあるのか。

施策66：市民協働の推進

- ・協働研修は、職員の研修への参加率(1回でも受けた人をカウントしていく)としてはどうか。

施策68：組織の活性化と人材の育成・活用

- ・過去1年間、積極的に市民協働(ボランティア、地域貢献活動)の機会に参加した職員の割合ではどうか。

～以上で会議終了～